



秋竹小 学校だより

第133号 平成26年10月16日

鹿鳴くや村の祭りの果てたる夜

## 『二酸化炭素を減らそう』

14日(火)5年生の子どもたちが、東邦ガスの出前授業で温暖化を防ぐための対策について学習しました。地球温暖化を防ぐためには二酸化炭素を減らすこと、そのためにいかにエネルギーを節約するか、です。身近なところでのエネルギー節約を考えるために、粉ふきいもを作る体験をしました。火加減、水加減、鍋の形、…。意外な発見もあったようです。

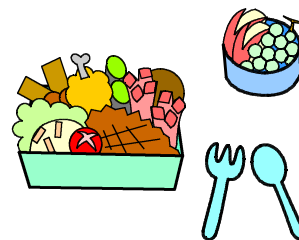
ぜひ、今日の学習を日頃の生活の中で実践してほしいと思います。

## 2週続きのお弁当に 子どもたちはほくほく

先週の台風18号に続き、またまた三連休最終日に台風19号が来ました。

進路状況などから、先週金曜日の時点で給食中止が決まり、今日(14日)も子どもたちはお弁当を大事そうに抱えて登校してきました。おうちの方に作っていただいたお弁当は、子どもたちにとって何よりのごちそうです。おなかだけでなく、心も満たされたことと思います。

2週続けてのお弁当づくりで、たいへんお世話をおかけしました。ありがとうございました。



## 運動会アンケートへのご協力、ありがとうございました

- 少人数ということで、どうしたらよい運動会になるかがとても工夫されていて、楽しませていただいた。なかま競技は、足が速い、運動神経がよい、だけでは勝てないように考えてあり、子どもたちの顔もきらきらして見えた。
- とても子どもらしく、元気よくのびのび、明るい運動会ができ、すばらしかった。特に騎馬戦が楽しそうだったし、私たちも見ていて楽しかった。障害物走ものびのびやれていた。走る前に放送で名前を呼ぶと、さらによかったのでは。
- 6年生は最後の運動会で、競技をスムーズに進めるため、陰ながらの仕事を一人一人がきちんとこなしている姿が印象的だった。少人数ながらも、最後まで勝敗がわからない内容の競技は見応えがあり、毎年楽しませてもらっている。
- 今年も恒例となっている「秋竹の合戦」「ねずみのもち引き」はずっと続けていってほしい。
- 保護者席がきちんと区別されており、通路も確保されていて気持ちよく観戦できた。保護者席と児童席をロープで区切ってあったので入っていく保護者は少なかった。
- 準備から指導、後片付けまで先生やPTAの方々感謝したい。このような教育的行事は海外にはなく、海外の人からうらやましいという声上がるのもうれしい。
  - ・ 障害物競走は、トラック1周にすると見応えがある。ワープリレーを理解できていない観客が周囲にいた。プログラムを見ればわかるのだが、混乱するようなら、通常のリレーでもよいと思う。
  - ・ 応援合戦は、控え席ではなく、グラウンドに出て行くともっとよくわかってよい。
  - ・ 競技ばかりなので、子どもたちが練習して発表するようなダンスなどが、一つくらいあるとよい。
  - ・ 運動することをメインにした運動会が望ましい。
  - ・ デカパンリレーの内容はおもしろかったが、一人でも参加できるものでもよかった。
  - ・ 親子競技も得点種目にするとう盛り上がるのではないか。親の紅白リレーがあってもよい。
  - ・ 簡易トイレを設置するなどして、トイレをもっと増やしてほしい。
  - ・ 駐車場は事故防止のため、来賓用と一時使用場所とに分けた方がよい。
  - ・ 昼食時の過ごし方について事前指導や保護者への連絡があるとよい。
- \* 今年度は、特に、駐車場や観覧席の設置などにつきましてご協力いただき、本当にありがとうございました。また、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。お寄せいただいた内容・会場設営等に関するご意見は、来年度の運動会に生かしていきたいと考えています。

